平成９年４月25日　第３種郵便物認可
The Democratic Party of Japan
2017年11月１日/町田市版 号外

～まちだ市民クラブ会派活動報告～

町田市議会議員［37歳・金森在住］

とつか　まさと

戸塚正人

町田市長選挙・市議会議員選挙が来年２月25日(日)投票日で執行が決まりました！

私の３期目の任期も残すところ 12 月定例議会を残すのみとなりました。皆様方には私の議員活動にご協力を頂き心より感謝申し上げます。この度町田市選挙管理委員会より、2018 年２月１８日(日)告示、２ 月２５日(日)投票日で町田市長選挙及び町田市議会議員選挙が執行される事が決まりました。

現状で言えば、先日施行されました総選挙におきまして私の所属する民進党が目まぐるしく変動している状況であり、私としましても今後どの様に進んでいくのか不透明な部分が多く不安な気持ちもありますが、当初の民主党の理念でもあり、私の政治理念でもある「生活者・納税者・勤労者目線の政治」を実現するという信念の下、今後どの様な状況になろうとも市議会議員として活動・運動をしていきたいと気持ちを新たにしております。

特にこの３期目の４年間は南地区にとって様々な環境変化がありました。グランベリーモールを含めた南町田駅周辺の再整備、旧鶴間・小川地区の住居表示再編、金森西田調節池整備計画等、改めて行政計画は住民合意の上で成り立っているのだと実感した期間でもありました。今改めて私の信念でもあります「現場主義」の活動をしていく決意です。

昭和５５年　４月１６日生（３７歳）
昭和６２年　金森ひまわり幼稚園卒園
平成５年　　町田市立南第三小学校卒業
　　(小学校時代は金森アームズ所属)
平成 11 年　東海大学付属相模高等学校卒業
　　(野球部に所属)
平成 15 年　東海大学文学部史学科卒業
(準硬式野球部所属、東都大学軟式野球連盟学生委員長)
平成 15 年　株式会社ｴﾑ･ﾃｨｰ･ﾌｰﾄﾞ入社
平成 18 年　町田市議会議員選挙　初当選
平成 26 年　町田市議会議員選挙　３期目当選

【役職】
- まちだ市民クラブ会派　所属
- 消防団第２分団４部　班長
- 地元ｿﾌﾄﾎﾞｰﾙ「ｵｰﾙ南三小」所属
- 一般社団法人町田青年会議所　副理事長
- 金森ひまわり幼稚園　理事
- 町田市ソフトボール連盟　顧問
- 東海大学同窓会町田支部　副支部長
- 東海大学付属相模高校同窓会　事務局次長
- UA ゼンセン東京都支部　政治顧問
- 三多摩民社協会　理事

→　６月に行われた消防団のポンプ操法大会。私は、３番員として、町田市の大会に出場しました。団員募集中です。

－ 市政レポート －
2017.11.1
民進党プレス民進編集部
〒100-0014
東京都千代田区永田町 1-11-1
電話 03-3595-9988(代表)
press@dpj.or.jp
http://www.dpj.or.jp
年間購読料 3,000 円(送料含む)
定価 1 部 100 円(消費税込み)
号外

戸塚正人後援会事務所
〒194-0012　町田市金森 2-16-6
TEL：042-727-1704
FAX：042-723-9935
E-MAIL：tmasato@lucky.odn.ne.jp

市民の生活視点で考えよう！
戸塚正人３期目の議会活動内容と取組み①！

☆金森西田調節池整備計画と通じて、グリーンインフラ(雨水タンク等)の雨水河川災害対策を考える！

３年前より東京都で計画されている金森西田調節池整備計画(予算規模約２００億円)。今回調節池の整備が計画されている金森の西田スポーツ広場は町田市の市有地です。そして地域住民に説明会が初めて行われたのは平成２７年の９月。この時には既に東京都と町田市の間で西田スポーツ広場(市有地)を東京都に調節池整備計画の為貸出す事を約束する「協定書」が結ばれていました。この整備計画での工期は実におおよそ１０年間。この期間スポーツ広場は使用出来なくなり、大型工事車両は毎日６分に１台生活道路を通行するという計画です。

現在西田スポーツ広場は地域住民の憩いの空間であり、地域や隣接の保育園の行事、スポーツを楽しむ子どもから大人等多くの市民が使用している広場です。また、災害が起きた場合の仮設住宅の設置指定場所でもあり、南地区の防災拠点でもあります。そんな西田スポーツ広場を事業主である東京都に調節池整備で貸出すという重要な計画を地域住民には説明すらされてきませんでした。当然説明会が開かれれば地域住民から「なぜ西田地区に調節池が必要なのか」「神奈川県の水害対策の為になぜ私たちが大型車両等の危険にさらされるのか」「子ども達のスポーツをする環境をどうするのか。代替地はどうするのか」等の意見が殺到し、説明会は毎回炎上状態となっています。

←東京都の調節池整備が計画されている金森西田スポーツ広場。地域住民の憩いの場所です。

この間地域住民より「住民合意が得られる迄東京都と町田市が締結した協定書の凍結を求める」請願が市議会に提出され賛成多数で可決されました。また、近隣町内会及び保育園、神社代表者の連名で町田市に同様の内容で「要望書」が提出されています。また、１０月には南地区自治会町内会連合会から同様の内容での「要望書」が提出されており、南地区全体の問題として取り扱われる事態となりました。

公共工事は住民合意の上で成り立つもの！ハード面の公共施設だけではなく雨水タンク等を活用した「グリーンインフラ」を推進して流域対策を行う！

私はこの間地域住民と様々意見交換をさせて頂いて参りましたが、公共工事は住民合意の上に成り立つものであるという認識を強く持ちました。また、少子高齢化から人口減少社会の影響下である今の財政状況にあって、より税金の効率的・効果的な投資が原則である中で、これまでと同じ様にハード面の公共工事のみで多額の税金を投入するだけではなく、流域対策として雨水タンク等を各家庭や施設で積極的活用し、雨水を河川にストレートに流さない。その結果雨水による内水氾濫や河川の増水を防ぐソフト的な対策が同時に必要であると感じました。

今回の調節池整備計画を通じて私は本会議の一般質問で雨水タンクの活用による河川の増水対策及び大雨による内水氾濫の対策を提案しました。既に全国では研究的に取組んでいる事例もあり、この雨水タンクや浸透升、グリーンインフラ等を活用した河川を中心としたまちづくりを研究している福岡大学にも学びに行かせて頂きました。やはり根本としては自然とどう向き合うのかという事と、これからのインフラ再生の将来像をしっかり描く事が大切であると感じました。今回の金森西田調節池整備計画については未だ解決していませんが、私はただ反対というだけではなく、対案としてソフト的な雨水対策・河川流域対策を提案していこうと思います。

→福岡大学にある雨水科学センターの前景。ここでは雨水の活用について研究している。

←雨水を貯めて河川増水対策をする雨水活用を啓発する為に福岡大学及び九州大学の学生が行っている「雨水タメルンジャー」。

市民の生活視点で考えよう！
戸塚正人３期目の議会活動内容と取組み②！！

☆空家の利活用を通じて若年層の居住推進や地域交流活性化を考える！

私が利活用を含めた空家の対策について取組んだのは実に４年前の平成２５年からでした。元々は地域住民の方々から相談があり、「この地域には集会所がない。でも近所に空家がある。何とか集会所に空家を使えないか」というお話を伺ってからでした。当時の空家対策は全国各地を見てみても防犯・防災上危険な迷惑施設だと認識されていました。しかし考え方を変えると、もしその空家を町田市の施策として活用出来れば、それは迷惑施設ではなく貴重な資産となるのではないか。その様に考え当時の全国各地の空家の利活用について題材にしながら「空家の利活用」について本会議で議論を始めました。その結果町田市では平成２６年度に初めて空家対策に関する「空家調査料」を予算化しました。その後平成２７年度には「町田市空家対策条例」を施行、翌年平成２８年には空家の利活用を含めた基本方針である「町田市空家０ゼロ計画」を策定しました。

この基本方針では空家に対する４つの課題である「空家の発生を抑制する為の予防」「空家発生要因と老朽度の実態把握」「空家に対する所有者の意思確認」「空家の中古流通や適切管理を促進する為の意識啓蒙」があり、その課題解決の為の基本方針である「空家の発生予防」「空家の利活用の促進」「空家の所有者への適正周知」を制定している。この方針を進める為宅地建物取引業協会等と町田市との協定も進みました。

私はこの間空家対策と利活用については今後も議論を展開したいと考えています。それはこれから進む生産年齢人口の減少に町田市として歯止めを掛ける事の出来る可能性があると感じたからです。若年層の取り込み施策として、この空家に若年層を積極的に呼込む施策も考えたい。また、空き店舗や空家を利活用して小規模でも利便性の高い小規模保育や子育てママ達の集まれるサロン的な施設、学生達への住居として利活用も出来ると考えています。今後も人口減少への対策として、議論をしていきたいと思います。

→　例年町田市でも増え続けている空家。町田市では平成２７年に空家の対策条例を制定し、翌年４月には空家対策の基本方針である「空家０計画」を策定しました。

☆町田駅から南町田駅ルートの路線バス増便について神奈川中央交通が前向きになりました！

町田駅から南町田駅ルートの路線バス増便については、これまでも地域の方々より要望の多い課題でした。私もこれまで何度も本会議で行政側と議論をして参りました。本年度６月の本会議にて再度この路線バスの増便について議論をさせて頂きました。現在町田市では神奈川中央交通に町田駅～南町田駅ルートの路線バス増便について、要望して頂きました。現在背景としても南町田駅周辺の整備計画も進んでおり、またグランベリーモールと鶴間公園の一帯再整備も予定され、南町田駅前道路の整備も進んでいる事から神奈川中央交通も前向きに検討をしています。町田市は南町田駅周辺整備の完成と合せて路線バスの増便を要望しており、神奈川中央交通もその要望にかなり前向きです。そうなれば南町田駅の急行停車も現実味を帯びてくる可能性も現状より高まりますし、南町田駅周辺のまちづくり、南地区のまちづくりが活性化すると考えています。

→↓南町田駅周辺再整備計画のイメージ。グランベリーモールの再整備や駅構内の再整備等、大きく南町田が変わります。

市民の生活視点で考えよう！
今こそ必要なのは現場主義の市議会議員！！

紹介者（あなた）の氏名	紹介者住所	紹介者電話番号	所属他

私は、以下の町田市在住の方を紹介します。

※ご紹介いただいた方々には各種レポート等を送付させて頂きます。

その他一切の目的外使用はいたしません。

氏名（被紹介者）	住　所	電話番号	紹介者との関係
	町田市	－　－	
	町田市	－　－	
	町田市	－　－	
	町田市	－　－	
	町田市	－　－	
	町田市	－　－	
	町田市	－　－	
	町田市	－　－	
	町田市	－　－	
	町田市	－　－	

※お一人でも大歓迎です。ファクスで送付願います。FAXが無い場合は受け取参りますので、お手数ですが下記の連絡先までご連絡お願い致します。

FAX：042－723－9935　TEL：042－727－1704

●ボランティア・スタッフ募集中！

戸塚正人はボランティアの方々のご協力で活動しています。ご協力して頂ける方、大募集しています！お気軽にご連絡下さい！！

① ニュースやチラシを配る事が出来る。
② 自宅や近所にポスターを貼れる。
③ その他

などなど、ご協力頂ける事をご連絡下さい。

[お問い合わせ先]

TEL：　042-727-1704
FAX：　042-723-9935
E-MAIL：　tmasato@lucky.odn.ne.jp

まちたからフェスタinMachida2018

↑町田青年会議所５０周年記念事業「まちたからフェスタ２０１８」で西本智実氏・野田あすか氏の野外コンサートを開催しました！